

災害時母子支援マニュアル第3版



一般社団法人茨城県助産師会
災害対策委員会

目 次

第1版作成にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2版改定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第3版改定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	3
I. マニュアル作成にあたっての基本的な考え方・・・・・・・・	4
1. マニュアル作成の目的	
2. 本マニュアルの位置づけ	
II. 災害発生時に・おける活動の基本的な考え方・・・・・・・・	4
1. 助産師会会員間の安否確認	
2. 助産師会の基本とする活動	
III. 災害時の組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1. 災害対策本部設置時期・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2. 災害対策本部設置場所・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 災害時の組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4. 災害時の組織員の任務・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5. 災害時の対応フローチャート・・・・・・・・・・	8
IV. 災害発生時(緊急時)の連絡方法および安否確認・・・・・・・・	9
1. 会員への情報伝達および安否確認方法	
V. 災害発生時の初動活動について・・・・・・・・・・・・・・・・	9
1. 電話相談開設(事務局)	
2. 被災母子の受け入れ(助産所部会)	
3. 避難所における母子の支援	
VI. 災害発生時の支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・	10
1. 開業助産所としての対応	
2. 保健指導部としての対応・・・・・・・・・・	17
3. 勤務部会としての対応・・・・・・・・・・	19
VII. 災害時の情報収集及び提供に関する関係機関・・・・・・・・	21
1. 災害時における母子に関連した関連機関及び施設連絡先	
2. 市町村防災主管課一覧・・・・・・・・・・	22

3. 市町村母子保健担当課一覧	23
4. 県内助産所・備蓄場所一覧	24
5. 県内産婦人科一覧	25
VIII. 支援のポイント	27
1. 妊産褥婦	27
2. 新生児・乳幼児	28
3. その他	30
IX. 活動報告記録様式	31
編集後記	32

第1版作成にあたって

2011年3月11日、三陸沖を震源とした、マグニチュード9.0、震度7の東北地方太平洋沖地震、いわゆる東日本大震災が発生しました。これは過去にくらべものにならない程の大きなものでした。地震と津波で、東北だけではなく、茨城県でも多くの人が犠牲となり甚大な被害を受けました。翌日には福島県第一原子力発電所で事故が起こり、放射性物質が大気中に放出するという最悪の事態が発生しました。

被災直後、被災者は遠方への避難、ストレスの多い避難所生活、通信網やライフラインの遮断、ガソリン不足、寒さ等、過酷な生活を余儀なくされました。福島第一原子力発電所事故による放射能汚染問題は今なお深刻で、子どもの健康への影響を心配しながら生活している母親も多いと思います。

また、地震や津波による被災地では、未だ復興が進まず、経済的な問題の他、心的外傷後ストレス障害による体調不良や苦しみ、家族や家を失った喪失感、これからの人生の不安など、身体的・精神的な問題を抱えている人も多いのではないかと推察します。一日も早い復興を願いながら、これからも被災地への関心を持ち続けていきたいと思っています。

今回のことを教訓に、社団法人日本助産師会「東北地方・太平洋沖地震支援金」事業として、日本助産師会茨城県支部では、「災害対策マニュアル」の作成をすることにしました。災害時、母子の安全のために、助産師として妊産婦や母子のケアを迅速かつ適確に行えることを目的としています。迅速に動ける組織の体制作り、放射能に関する内容、助産師就労先毎の対応や緊急事態への備えから防災教育訓練まで、災害支援に役立つ内容としました。また、今回の震災時に、会員の助産師がどのように行動したかを記録として掲載しています。

災害時のマニュアルですので、見ればすぐ動けるように作成しました。二度とあのような災害は起こらないでほしいと思いますが、万が一の時のために備え、会員はもちろん会員以外の方にも幅広く、ご活用いただけることを願います。

社団法人日本助産師会「東北地方・太平洋沖地震支援金」事業

平成24年3月

(社)日本助産師会 茨城県支部長 伊藤きよみ

第 2 版の改訂にあたって

東日本大震災から 4 年半が経過しました。その間に、集中豪雨や火山噴火等により新たに多くの犠牲者が出て、その度に自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。その結果、私達の災害に対する意識は、東日本大震災以来、大きく変わりました。私達は、一家庭人として、また一職業人として、常に災害に対して危機管理を行わなければなりません。

今回、第 27 回（公）日本助産師会南北関東地区研修会の開催を茨城県助産師会が担当します。その研修会テーマを「東日本大震災を忘れない」にしましたこの研修会を機に、平成 24(2012)年に作成した「茨城県災害時母子支援マニュアル」の見直しに着手しました。震災後いち早く「茨城県災害時母子支援マニュアル」を作成したわが県は、内外からの評価と、第 16 回村松志保子顕彰会表彰を頂きました。今回の改訂は、法人化に伴う名称や文言等の訂正、関係各機関情報の見直し、緊急連絡網の整備等を中心に行いました。初版同様、皆様に活用して頂くことを願っております。

今後、首都直下型地震、南海トラフ地震等の発生による災害が懸念されます。更に、わが県は、東海第二発電所を有し、30 キロ圏内に 100 万人の住人がいますが、未だにその避難計画が進んでいないのが現状です。私達は、自然と共存して生きていかなければなりません。自然は恵みをもたらす半面、災害も与えます。災害時に生き抜くために備えをし、悲しいことが起こらないよう願ってやみません。

最後に、今年 3 月、仙台で行われた国連防災世界会議フォーラムにおける福島県飯舘村菅野典雄村長のことばを掲載させていただきます。「4 年過ぎると身も心も病んでいく。普通の災害はゼロからのスタートできるが、放射能の闘いはゼロへの闘いをしなくてはならない。一生懸命やってきたが、人の心が離れていく大変さがある。」

平成 27 年 8 月 16 日
一般社団法人 茨城県助産師会
会長 工藤 登志子

改訂第3版にあたって

2011年3月11日に発生した東日本大震災より10年が経過しました。茨城県助産師会の本格的な災害対策はその時から始まったと言っても過言ではなく、事実、その後に茨城県災害時母子支援マニュアル（以下マニュアル）第1版が発行されました。2015年には茨城県助産師会が日本助産師会南北関東地区研修会を担当し、「東日本大震災を忘れない」をテーマとし開催しました。そのテーマとした理由は、助産師は平時も災害時も母子とその家族の健康を支援する立場であること、助産師が災害に対する日頃の備えと責務を再認識し震災の事実を風化させないためです。その間に集中豪雨等などの自然災害が多発しております。それらに対応するために、マニュアルを第2版として改訂いたしました。

2018年には、妊産婦・母子への防災教育として母子向けのリーフレットを作成し、市町村によっては県内の母子の手元に届いております。

今回、第2版のマニュアルを見直し、第3版として改訂の運びとなりました。主な改訂点は①組織図の見直しと任務の明確化、②災害発生時の初動体制の整備と明記、③安否確認の方法の明記、④掲載関連機関の更新および必要な諸機関情報の追加、⑤新たな情報にアクセスできるようURLの紹介の5点です。

茨城県助産師会では、災害時の初動体制が整備されてきています。また、県内助産所と福祉避難所として契約させていただいております。今後、首都直下型地震、南海トラフ地震等の発生による災害が懸念されます。会員の皆様におかれましては、第3版をご確認いただき、災害時の助産師活動についての一助になれば幸甚です。

2021年10月2日
一般社団法人 茨城県助産師会会長
礒山あけみ

I. マニュアル作成にあたっての基本的な考え方

1. マニュアル作成の目的

助産師は、専門的な知識に基づき、母子やその家族のニーズに応じた安全で快適なケアを提供する専門職である。一般社団法人茨城県助産師会(以下本会とする)は、災害発生時にもこのようなケアが提供できることが、地域に根ざした職能団体としての使命であると考えている。そのため、会員間の協力支援はもちろん、行政や地域と連携しながら助産師としての責務を全うできるよう日頃からの準備が必要である。本マニュアルは、主に大地震や風水害等の自然災害が発生した際の、本会の活動指針とすることを目的に作成した。

2. 本マニュアルの位置づけ

茨城県は太平洋に面しており、且つ一級河川が県内の数か所を流れている。そのため、地震災害のみならず津波や河川の氾濫など広範囲に自然災害に見舞われる可能性がある。また、東海村には原子力発電所があり、放射性物質による特殊災害が発生する危険性もある。

さらに、感染症が流行した際の日常生活の変化など、新生物質により自然災害発生時に準じるような状況が生じる可能性もある。

そのため、本マニュアルは、広範囲の災害発生時を念頭に置いた活動マニュアルとして活用することを望む。

II. 災害発生時における活動の基本的な考え方

本マニュアルは、発災後、会員間の安否確認から、地域の母子及びその家族の支援について、初動期から行政と連携した支援活動に向けて、会員が迅速かつ適切な対応がとれるよう災害時に必要とする活動について記述してある。

1. 助産師会会員間の安否確認

2. 助産師会の基本とする活動

- ・妊産褥婦および新生児とその家族の支援

- ・乳幼児を持つ母親とその家族の支援

(母乳育児相談・乳房ケア・育児相談・育児用品の調達・授乳室の確保等)

- ・緊急分娩の介助(搬送できないやむを得ない場合)
- ・周産期以外の女性の健康全般に関する支援

Ⅲ. 災害時の組織体制

1. 災害対策本部設置時期：

茨城県内および近隣県で発生した震度 5 強以上の地震、そのほか大災害発生時に本会会長（災害対策本部長）が設置の必要性を認めた場合、発生後 24 時間以内に災害対策本部を立ち上げる。

2. 災害対策本部設置場所

一般社団法人茨城県助産師会事務局

〒310-0851 水戸市千波町 2475 栗原ビル A 号室

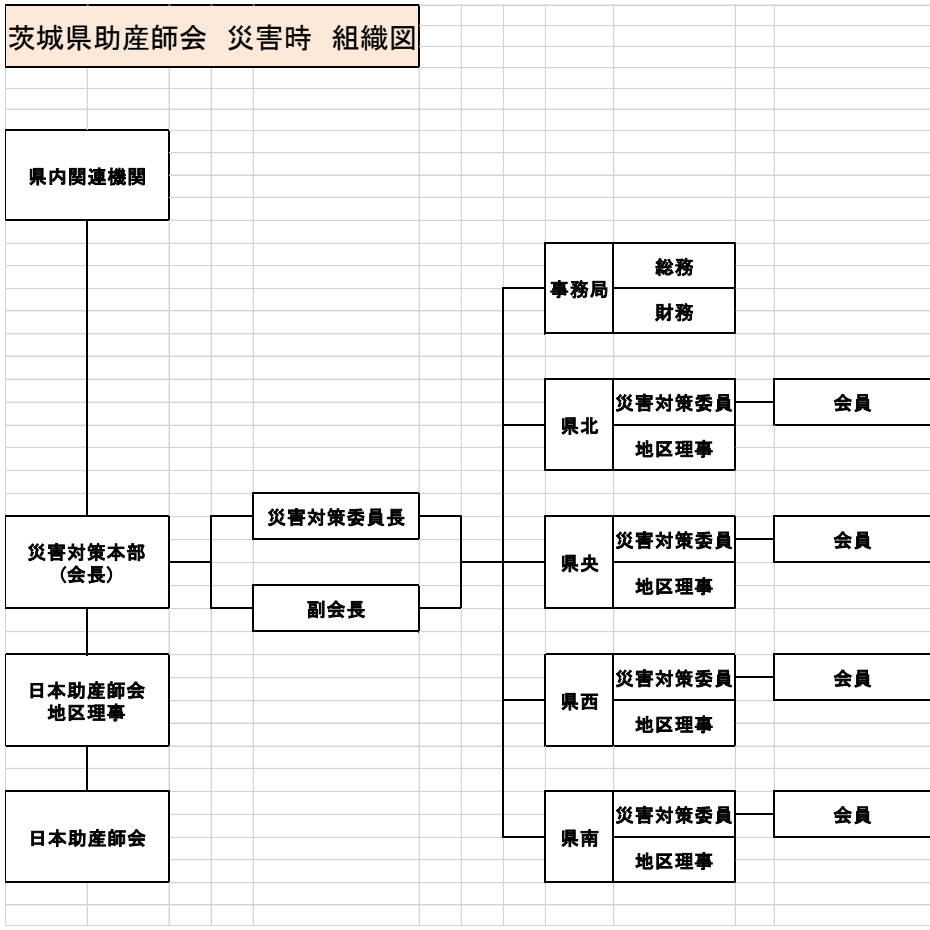
TEL/FAX 029-297-5430

E-mail : sanbaibaraki@song.ocn.ne.jp

※ 事務所が被災し使用できない場合は、地区理事に本部機能を委譲する。その際の必要経費は会で別途支払う。



3. 災害時の組織体制



4. 災害時の組織員の任務

【会長】

- ・ 茨城県助産師会としての災害時支援時重要事項の決定及び指示
- ・ 日本助産師会への報告
- ・ 県・市町村・その他関連機関との連携・情報収集
- ・ 近隣県の助産師会との連携と情報収集
- ・ 災害対策委員長・副会長への報告と連携

- ・茨城県助産師会会員の状況把握

【副会長・災害対策委員長】

- ・会長の補佐
- ・各地区災害対策委員への報告と連携
- ・茨城県助産師会会員の状況把握
- ・県・市町村・助産所・その他関連機関との連携・情報収集
- ・災害支援に関する情報収集と会員(ボランティア登録者)への支援依頼

【災害対策委員】

- ・会員の安否確認(LINE 公式アカウント)及び集約
- ・被災地周辺の被災状況の把握、記録・報告
- ・災害対策委員長との情報共有及び連携
- ・各理事との情報共有及び連携
- ・災害支援に関する情報収集及び提供
- ・災害ボランティアの支援希望確認及び配置調整

【理事】

- ・会員の安否確認及び被災地周辺の被災情報の収集、記録・報告
- ・災害対策委員への情報収集及び提供

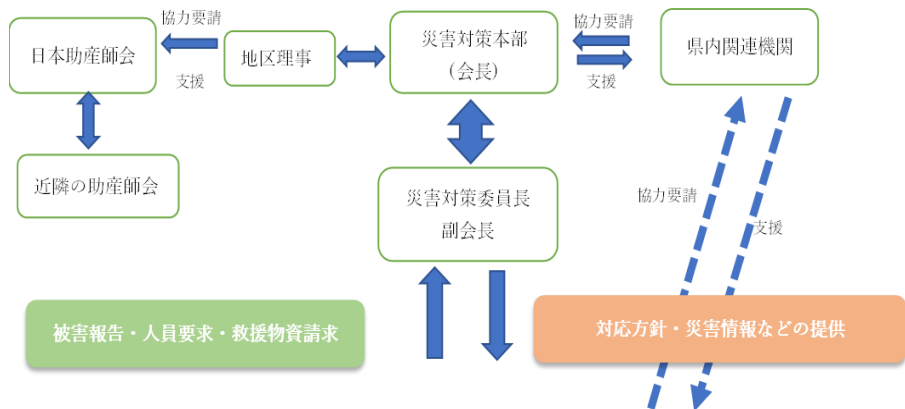
【会員】

- ・安否及び被害状況の報告
- ・通常業務に支障がない範囲においての支援活動

【事務局・総務・財務】

- ・会員の安否確認(メール・電話のみ)及び集約
- ・災害ボランティア保険の手続き
- ・電話相談開設
- ・避難所となる助産院への連絡等
- ・行政機関との情報共有
- ・会長・副会長・災害対策委員長との連携
- ・ガソリンの確保

5. 災害時の対応フローチャート



【各地区災害対策委員・各地区理事】

- ・ 会員の安否確認
- ・ 情報の把握・共有・提供
- ・ 支援協力要請の確認と配置
- ・ ボランティア登録者招集(必要に応じて)

【事務局】

- ・ 会員の安否確認
- ・ 電話相談開設
- ・ 母子向け避難所(助産所)開設準備
- ・ 災害ボランティア保険の手続き
- ・ ガソリンの確保

【会員】

- ・ 安否の報告
- ・ 被害状況の報告
- ・ 支援活動

【支援】

- ・ 電話相談《事務局》
 - ・ 被災した母子の受け入れ《助産所》
 - ・ 被災地からの要請に応じた支援《災害ボランティア》
- <妊産婦のケア、子どもを持つ母子のケア、母乳育児相談、育児相談、育児用品の調達、授乳室の確保、女性全般の健康に関することなど>

※支援後は、所定の用紙を用いて活動を記録し事務局に提出する。

IV. 災害発生時(緊急時)の連絡方法および安否確認

1. 会員への情報伝達および安否確認方法

1)LINE 公式アカウント

各地区の災害対策委員より安否確認をし、災害対策本部へ報告する。

2)メール

事務局（災害対策本部）よりメーリングリストを使用して安否確認をし、災害対策本部へ報告する。

3)その他

LINE やメールで連絡の取れない会員については、地区災害対策員または委員が指定した者が確認するよう努める。安否確認後は災害対策本部へ報告する。

V. 災害発生時の初動活動について

1. 電話相談開設(事務局)

電話相談開設について、会員向けには緊急時の連絡網(メールやLINE)を活用し周知する。

行政には、メールや電話で電話相談開設の案内をする。

※災害対策本部が他施設に異動した場合は、電話の転送機能を使用し対応する。

2. 被災母子の受け入れ(助産所部会)

県内の有床助産所で母子の受け入れをする。

(とべ助産院、助産院ベビーヘルシー美蕾、守谷助産院)

3. 避難所における母子の支援

被災状況に応じ、災害ボランティア登録者を招集し、被災母子への支援を開始する。

VI. 災害発生時の支援活動

1. 開業助産所としての対応

1) 開業助産所すべてが担うと自覚すべきこと

(1) 災害対策本部設置場所

災害の場所や規模により、本部設置場所は異なる

場合によって、それぞれの地区にも窓口をおく必要がでてくる

(2) 被災者(母子)の情報発信拠点

積極的に情報収集をして正確な情報発信に努める

2) 分娩を扱う有床助産所における災害時の初期対応

(1) 災害情報の把握

→テレビ・ラジオ・インターネット等を利用する。

今後の問題とその対応をスタッフ間で共有する。

(2) 入院母子の安否確認

→必要時、応急処置や病院等への搬送をする。

産婦・褥婦の家族に連絡をとり無事を知らせる。

(3) 助産所の被害状況確認

→施設の継続使用が不可能な場合、移転・避難先を確保する。(産婦の自宅・他の助産所・病院・避難所など)

母子健康手帳に必要事項を記入し必ず持たせる。

★継続使用可否の判断材料・・・産婦・褥婦の安全確保ができる/新生児管理の三原則(保温・栄養・感染防止)が可能/搬送・転院が可能など。

(4) ライフラインの確認と確保

(5) 必要物品の点検

→不足分は災害用備蓄品を使用する。

スタッフ間で使用優先順位を確認する。

それでも足りない場合は、災害対策本

部やメーリングリストを通じて他の会員(他地区)に要請する。

(6) 災害時に助産所スタッフが集合するなど、マンパワーを確保

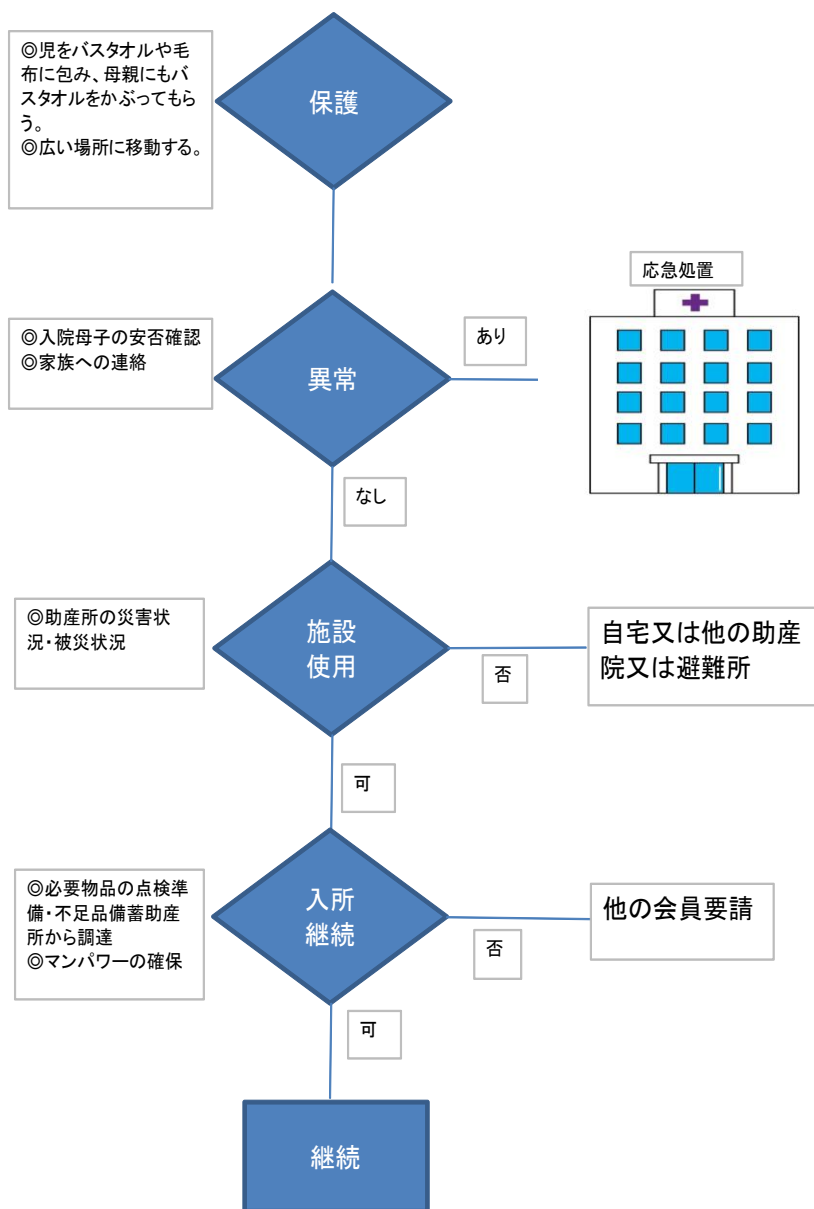
→スタッフだけで足りない場合、あるいは出勤できない状況がある場合は、ブロック内の助産所に応援を求めるか、災害対策本部やメーリングリストを通じて他の会員(他地区)に要請する。

(7) 分娩予約者への配慮

→妊娠 36 週以上の妊婦に連絡をとり、状態の確認と発生時の対応について打ち合わせをする。

助産所での分娩が不可能な場合、他の方法を提示する。

＜有床開業助産所初期対応のフローチャート＞



3)出張による分娩のみを扱う助産師の災害時の初期対応

- (1) 災害情報の把握 →テレビ・ラジオ・インターネット等を利用する
- (2) 車のガソリンを満タンにする →災害後はガソリン不足になる可能性がある
優先給油の指定を受けることもできるが、それには数日かかるので、災害後速やかに給油をする必要がある
- (3) 分娩予約者に連絡をとる →妊娠 36 週以上の妊婦に連絡をとり、状態とライフラインの確認および陣発時の対応について打ち合わせをする。
自宅での分娩が不可能な場合、他の方法を提示する
- (4) 出産宅周辺の道路状況の確認 →とくに出産間近な場所は重点的に確認しておく
- (5) 必要物品の補充・点検 →不足分は災害用備蓄品を使用する
スタッフ間で使用優先順位を確認する
それでも足りない場合は、災害対策本部やメーリングリストを通じて他の会員(他地区)に要請する
- (6) 分娩時に備えてマンパワーを確保→通常のスタッフがサポート可能かどうか確認する他、産宅により近い助産師も確保できるよう要請する
(日常より緊急の場合の依頼ができる体制を整えておく)必要に応じて、災害対策本部やメーリングリストを通じて他の会員(他の地区)に要請することも考える

★ガソリンの優先給油ができるよう緊急車両の指定を受ける方法

①災害対策本部から、事前に電話で茨城県石油商業組合/石油業共済協同組合連合会に確認する

(〒310-0801 水戸市桜川 2-2-35 茨城県産業会館内 ☎029-224-2421)

②茨城県助産師会会長名(公印要)で、茨城県石油商業組合/石油業共済協同組合連合会あてに依頼文書・別添文書として助産所の名称・所在地・開設者氏名・車両番号(各助産所1台まで)のリストが必要。

③許可が出るまでに数日かかる。許可を受けたら、各助産所に緊急車両指定の登録を示す標識と優先給油が可能なガソリンスタンドのリストを配布する。

*妊婦への対応

以下のことがあったら受診してもらう。

腹緊(体を温め横になる)、出血(清潔ナプキンをあてて横になる)、破水(清潔なナプキンをあてて横になる)、陣痛開始時(お産を手伝ってくれる人を呼ぶ)

4) ライフライン途絶時の分娩(災害用備蓄品を使用)

- (1) 母子が安全である場所と方法を選ぶ
- (2) 産婦の不安を軽減するような声かけと笑顔を忘れない
- (3) 産婦とともに家族への配慮を行う。

分娩時使用物品

ドップラー・トラウベまたは聴診器・災害用お産セット・ディスポ吸引カテーテル・手袋・懐中電灯と電池(ヘッドライトもあると便利)・ビニール袋 45L・新聞紙・手指消毒剤やウェットティッシュ・水

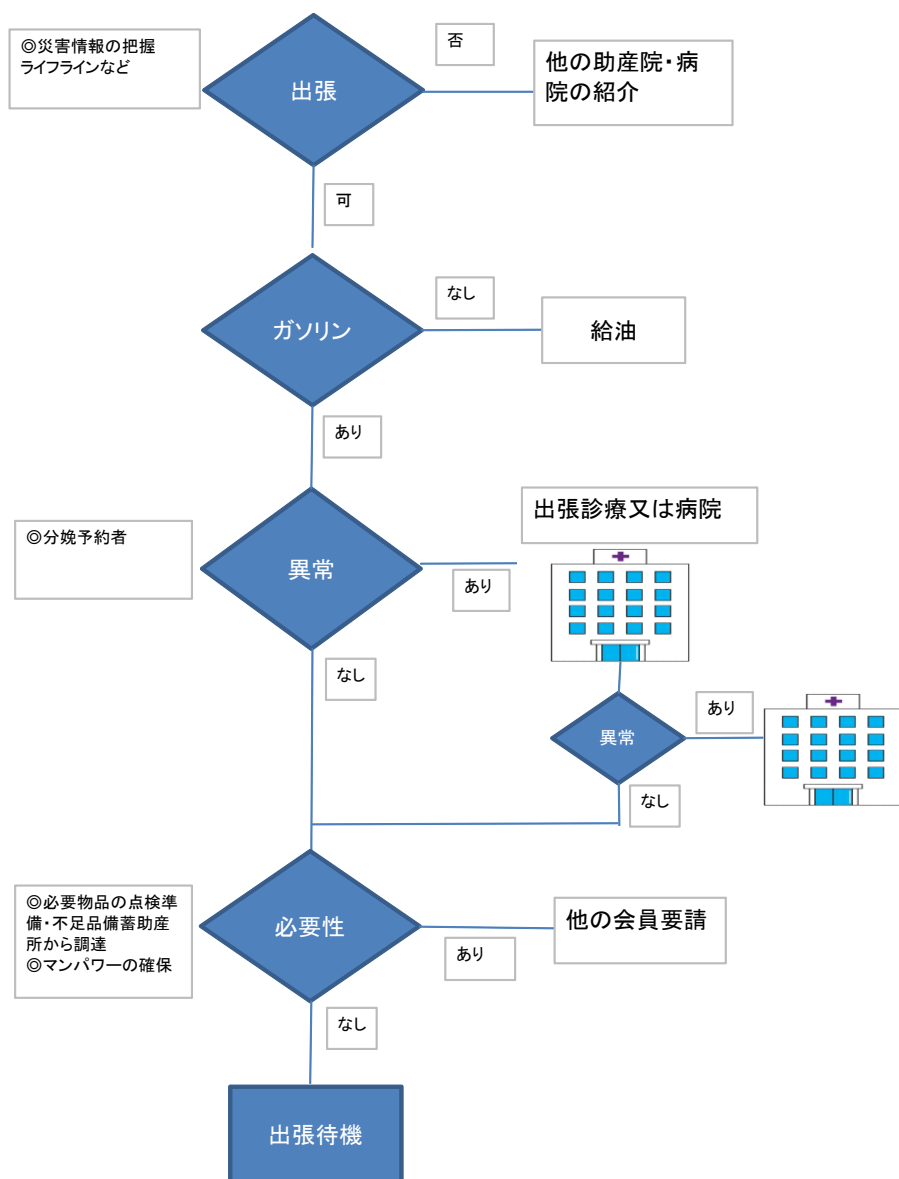
保温のための物品

衣類・毛布・バスタオル・使い捨てカイロ・ラップフィルム

産後の必要物品

お産用ナプキン・紙おむつ・ドライシャンプー・携帯用トイレ・非常食・飲料水・カセットコンロとボンベなど

<出張開業助産所の初期対応フローチャート>



5)入院中の母子のケア

- (1)把握した状況と助産所の対応を説明し、不安をできるだけ軽減する。
- (2)母子一体でいるようにし、児の保温に努める。
- (3)なるべく誰かが一緒にいる環境をつくる。
- (4)限られた物資のなかで生活援助を行う。

6)避難が必要な場合

- (1)避難方法・避難経路・避難場所を確認後、避難誘導する。
- (2)母子一体で避難させる。
- (3)持たせるもの(母子健康手帳・オムツ・ナプキン・毛布・水・K2 シロップなど)
- (4)母子の避難先・連絡先を記録しておく。

7)災害時の搬送・転院体制

- (1)茨城県の搬送・転院体制を理解し、それに従って行う。
- (2)救急車が使用できないこともあるので、自分で搬送するか民間の緊急搬送会社の利用も考える。
- (3)分娩場所の変更を余儀なくされた妊婦がいた場合、分娩が可能そうな助産所・病院に連絡し調整する。県内助産所の分娩可否の情報は、災害対策本部が掌握しておく。



2. 保健指導部としての対応

1) 震災時に備えるための掲示を助産所施設に掲示する。

＊とっさの地震の場合、赤ちゃんをしっかり抱いて、帽子やバスタオルなどで赤ちゃんと自分の頭を守りましょう。

＊避難場所は〇〇〇小学校・公民館です。避難時は落下物から身を守るために前に赤ちゃんを抱きましょう。

＊車は常に前向きに駐車しましょう。

＊パパに連絡しましょう（災害用伝言ダイヤル：171）。

＊必要品を備蓄および避難所への持参品。

（財布・保険証・母子健康手帳・紙おむつ、おしりふき、レトルト・瓶詰離乳食、スプーン、コップ、おやつ、携帯用ミルク、携帯用ポット、哺乳瓶、乳首、ガーゼハンカチ、ビニール袋、バスタオル、衣類、下着、飲料水、紙コップ、携帯充電ケーブル、生理用品、懐中電灯、マスク、手指消毒液、常備薬、抱っこ紐、保温シート、メモ帳、ボールペン、油性ペン）

2) 訪問時での対応

(1) 安全を確保する。

＊落下物、転倒物がない場所に移動する。

＊児をバスタオルや毛布に包み移動する。

＊きょうだいがいる場合は同様に保護する。

＊屋外へ避難した時は近くにいる人に声をかけ、子どもがいることを伝える。

(2) ラジオ・テレビ、災害情報アプリを活用し情報の確認をする。

(3) 避難場所への移動に備える。

＊避難場所を知っているか確認する。

＊避難袋は準備されているか

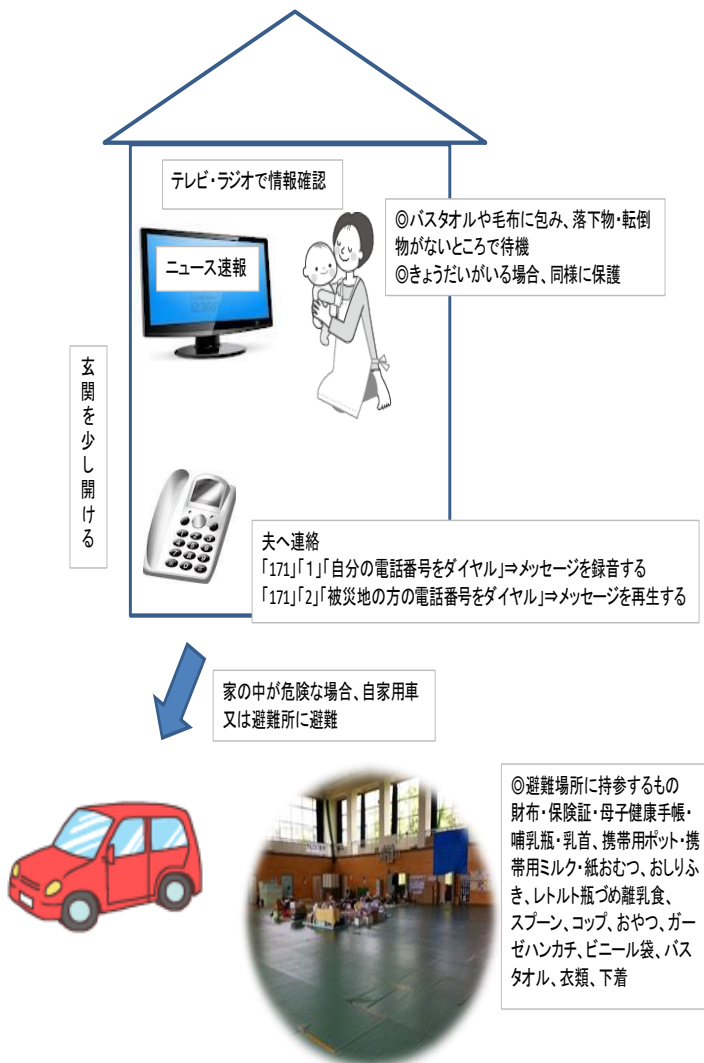
＊家族（夫）との連絡手段はあるか確認する。

(4) 状況を見て帰途につく。

(5) 状況によっては一緒に避難所へ移動する。

＊母子健康手帳・財布・保険証・ミルク・おむつを持参して緊急避難する。

<訪問先での初期対応フローチャート>



3. 勤務部会としての対応

- 1) 勤務部会の会員は、個々に勤務している施設において適切な災害支援を実行し、災害による母子の被害を軽減する。
- 2) 東日本大震災の体験を共有し、会員相互の交流をとおり情報を共有し、災害時の母子支援について認識を深める機会を設ける。(研修会・講演会・交流会など)
- 3) 勤務部会及び、助産所部会、保健指導部会と連携し各部会での災害時における支援活動を理解し、施設と地域が一貫した母子支援を行えるよう対策を講じる。(母子手帳の活用・情報提供・学習会など)
- 4) 本マニュアルを平常より理解しておく。
- 5) 会員相互の交流と親睦を深め、他施設及び保健指導部会、助産所部会の活動を知ること、災害時の母子へ情報を提供できるように情報を収集しておく。

<災害発生時>

□ 勤務部会としての対応

- (1) 各勤務箇所および連絡網にて安否確認と災害対策本部との連絡・確認
- (2) 被害状況の情報収集と提供

□ 勤務部会員として

- (1) 自身の施設における災害支援を行う。
- (2) 被害状況・支援状況など情報の内容を明確に伝え、情報の収集と提供を行う。
- (3) 施設以外で支援が出来る場合は、自分が出来る範囲で実施する。

<各施設における災害対応、工夫点>

災害マニュアルがあっても、発生直後の急性期にはマニュアルを見ながらの行動は出来ない。

平常時と緊急時と発生時期に応じた、2つのマニュアルを作成するとよい。

- (1) 平常時は、十分な文章量で実施業務を理解し訓練する。

(2) 災害発生時は、少ない文章量で実践的に活用できるような内容で作成し訓練しておく。

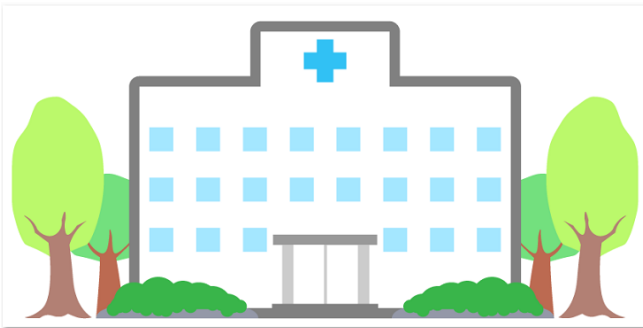
①災害用アルゴリズム作成

②行動マニュアルの周知徹底と訓練（咄嗟に確実にできることは少ない）
数枚の量で絵を用い会話形式に実践内容を作成し訓練する（すべきことに優先度をつけ限られた時間内に、一つずつ行う）。誰が、何を、どう行動するかなど具体的な実践内容にする。

③最少人数の人員の場合を想定し、内容を考慮する。

④妊産婦へも災害時の対応を伝えておく。（出産前教育に含む）

(3) 被災地なのか、被災地外であるのかによっても相違が生じるので、二つの場合を想定の点を考慮しマニュアルを作成する。



VII. 災害時の情報収集及び提供に関する関係機関

1. 災害時における母子に関連した関連機関及び施設連絡先

名称	電話・FAX番号	
茨城県庁	029-301-1111(代)	
広報広聴課 (県内の広報および報道取材に関すること)	029-301-2113 FAX:029-301-6330	
生活環境部		
生活文化課 (犯罪被害者支援に関すること)	029-301-2819	FAX:029-301-2848
防災・危機管理課 (災害救助に関すること)	029-301-2875	FAX:029-301-2898
原子力安全対策課 (原子力防災に関すること)	029-301-2922	FAX:029-301-2929
保健福祉部		
厚生総務課 (医療施設における防災対策に関すること)	029-301-3117	FAX:029-301-3139
福祉指導課 (会福祉に関すること)	029-301-3157	FAX:029-301-3179
医療対策課 (医療体制の整備に関すること)	029-301-3151	FAX:029-301-3199
保健予防課 (市町村保健センターの指導に関すること)	029-301-3229	FAX:029-301-6341
子ども家庭課 (母子及び乳幼児の保健に関すること)	029-301-3252	FAX:029-301-3269
生活衛生課 (飲食給水および飲料水の安全確保に関すること)	029-301-3431	FAX:029-301-3439
薬務課 (医薬品の生産及び供給に関すること)	029-301-3384	FAX:029-301-3399
茨城県警察本部		
警備部警備課	029-301-0110 (内線6463)	
保健所		
中央保健所	029-241-0100(代)	FAX:029-241-5313
ひたちなか保健所	029-265-5515(代)	FAX:029-265-5040
ひたちなか保健所 (常陸大宮支所)	0295-52-1157(代)	FAX:0295-52-2865
日立保健所	0294-22-4188(代)	FAX:0294-24-5132
潮来保健所	0299-66-2144(代)	FAX:0299-66-1613
潮来保健所 (鉾田支所)	0291-33-2158(代)	FAX:0291-33-3136
竜ヶ崎保健所	0297-62-2161(代)	FAX:0297-64-2693
土浦保健所	029-821-5342(代)	FAX:029-826-5961
つくば保健所	029-852-9287(代)	FAX:029-851-5680
筑西保健所	0296-24-3911(代)	FAX:0296-24-3928
古河保健所	0280-32-3021(代)	FAX:0280-32-4323
団体		
(社) 茨城県医師会	029-241-8446	FAX:029-243-5071
茨城県産婦人科医会	029-241-1130	
(公) 茨城県看護協会	029-221-6900	FAX:029-226-0493
(社) 茨城県歯科医師会	029-252-2561	
(社) 茨城県薬剤師会	029-306-8934	
(公) 日本助産師会	03-3866-3054(代)	FAX:03-3866-3064
日本赤十字社茨城県支部	029-241-4516	FAX:029-241-4714
その他		
小児救急電話相談	#8000 (365日 24時間)	
茨城いのちの電話	つくば 029-855-1000 水戸 029-350-1000	
いばらきこころのホットライン	029-244-0556 (月曜日から金曜日) 0120-236-556 (土日) (相談専用ダイヤル)	
公益社団法人いばらき被害者支援センター 性暴力被害者サポートネットワーク茨城	029-350-2001月～金曜日 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	
女性相談センター (配偶者暴力相談支援センター)	029-221-4166(平日: 9:00～21:00、 土日祝日: 9:00～17:00)	
法テラス 茨城地方事務所	050-3383-5390	
救急医療情報コントロールセンター	029-241-4199 24時間対応 年中無休	
茨城県石油業協同組合	029-224-2421 FAX:029-224-2461	

2. 市町村防災主管課一覧(2021 年 11 月 30 日現在)

	市町村名	防災主管課名	電話番号	FAX番号
1	北茨城市	総務課防災安全係	0293-43-1111	
2	高萩市	危機対策課	0293-23-2215	0293-24-0636
3	日立市	総務部くらし安心局防災対策課	0294-22-3111	0294-21-7000
4	常陸大宮市	危機管理課	0295-52-1111	0295-53-5415
5	常陸太田市	防災対策課	0294-72-3110	0294-72-3002
6	大子町	総務課	0295-72-1114	0295-72-1167
7	那珂市	防災課	029-298-1111	029-298-0944
8	ひたちなか市	生活安全課	029-273-0111	029-271-0851
9	東海村	防災原子力安全課	029-282-1711	029-270-4418
10	水戸市	防災・危機管理課	029-232-9152	029-233-0523
11	茨城町	総務課	029-240-7125	029-292-6748
12	大洗町	生活環境課	029-267-5111	029-266-3577
13	城里町	総務課	029-288-3111	029-288-3113
14	笠間市	危機管理室	0296-77-1101	0296-78-0612
15	小美玉市	防災管理課	0299-48-1111	0299-48-1199
16	行方市	総務課	0299-72-0811	
17	鉾田市	総務課	0291-36-7174	0291-32-4443
18	潮来市	総務課	0299-63-1111	0299-80-1100
19	鹿嶋市	交通防災課	0299-82-2911	0299-84-7759
20	神栖市	防災安全課	0299-90-1126	0299-92-4917
21	稲敷市	危機管理課	029-892-2000	029-892-2062
22	利根町	防災危機管理課	0297-68-2211	0297-68-7990
23	河内町	総務課	0297-84-6979	0297-84-4357
24	美浦村	生活安全課	029-885-0340	029-885-4953
25	阿見町	防災危機管理課	029-888-1111	029-887-9560
26	かすみがうら市	危機管理課	0299-56-2326	0299-59-2130
27	石岡市	防災危機管理課	0299-23-1111	0299-22-3684
28	土浦市	防災危機管理課	029-826-1111	029-822-9252
29	つくば市	危機管理課	029-883-1111	029-868-7628
30	つくばみらい市	防災課	0297-58-2111	0297-58-8586
31	牛久市	防災課	029-873-2111	029-874-0421
32	守谷市	交通防災課	0297-45-1111	0297-45-2389
33	取手市	安全安心対策課	0297-74-2141	0297-73-3450
34	龍ヶ崎市	危機管理課	0297-64-1111	0297-60-1583
35	常総市	防災危機管理課	0297-39-6000	0297-23-1848
36	坂東市	交通防災課	0297-21-2180	0297-35-8201
37	下妻市	消防交通課	0296-43-2111	0296-43-4214
38	八千代町	消防交通課	0296-48-1111	0296-33-1941
39	結城市	防災安全課	0296-34-0411	0280-77-1511
40	古河市	消防防災課	0280-76-1511	0296-24-7333
41	筑西市	消防防災課	0296-24-2132	0296-58-5115
42	桜川市	防災課	0296-58-5111	
43	五霞町	生活安全課	0280-84-3618	0280-84-1478
44	境町	防災安全課	0280-81-1307	0280-86-7521

3. 市町村母子保健担当課一覧(2021 年 11 月 30 日現在)

	市町村名	母子保健担当課名	電話番号
1	北茨城市	健康づくり支援課	0293-43-1111
2	高萩市	健康づくり課	0293-24-2121
3	日立市	健康づくり推進課	0294-21-3300
4	常陸太田市	健康づくり推進課	0294-73-1212
5	常陸大宮市	健康推進課	0295-54-7121
6	大子町	健康増進課	0295-72-6611
7	那珂市	健康推進課	029-270-8071
8	ひたちなか市	健康推進課（ヘルス・ケア・センター）	029-276-5222
9	東海村	健康増進課	029-282-2797
10	水戸市	産前産後支援センター「すまいるママみと」 （保健センター内）	029-305-6292
11	茨城町	茨城町子育て世代包括支援センター 「にこ☆きら」	029-240-7129
12	大洗町	健康増進係	029-266-1010
13	城里町	健康保険課(常北保健福祉センター)	029-240-6550
14	笠間市	笠間市子育て世代包括支援センター「みらい」	0296-78-3155
15	小美玉市	健康増進課	0299-48-0221
16	行方市	健康増進課	0291-34-6200
17	鉾田市	健康増進課	0291-33-3691
18	潮来市	かすみ保健福祉センター「ひまわり」	0299-64-5240
19	鹿嶋市	保健センター	0299-82-6218
20	神栖市	健康増進課	0299-90-1331
21	稲敷市	健康増進課	029-892-2000
22	利根町	保健福祉センター	0297-68-8291
23	河内町	保健センター	0297-84-4486
24	美浦村	健康増進課	029-885-1889
25	阿見町	健康づくり課	029-888-2940
26	かすみがうら市	健康づくり増進課（かすみがうら保健センター）	029-898-2312
27	石岡市	健康増進課（石岡保健センター）	0299-24-1386
28	土浦市	健康増進課	029-826-3471
29	つくば市	健康増進課	029-883-1111
30	つくばみらい市	健康増進課	0297-25-2100
31	牛久市	健康づくり推進課	029-873-2111
32	守谷市	保健センター	0297-48-6000
33	取手市	保健センター	0297-85-6900
34	龍ヶ崎市	健康増進課	0297-64-1039
35	常総市	保健推進課	0297-23-3111
36	坂東市	健康づくり推進課	0297-35-3121
37	下妻市	保健センター	0296-43-1990
38	八千代町	健康増進課	0296-48-1955
39	結城市	健康増進課	0296-32-7890
40	古河市	子育て包括支援課	0280-48-6881
41	筑西市	母子保健課	0296-22-0506
42	桜川市	健康推進課	0296-75-3159
43	五霞町	健康福祉課	0280-84-0006
44	境町	健康推進課	0280-87-8000

4. 県内助産所・備蓄場所一覧

<https://www.sanba-ibaraki.com/map>

	施設名 (保健所届出名称)	院長名	所在地	電話番号	分娩		産後ケア		母乳相談	
					出張	施設	日帰り	入院	出張	来所
1	マタニティ・ケア・伊藤	伊藤さよみ	北茨城市巾着町小野矢指26-6	090-2227-6752	×	×	○	×	○	○
2	サポート うぶごえ	長谷川知香子	高萩市本町	0293-23-1761	×	×	×	×	○	×
3	助産所あおぞら	秋山智代	常陸太田市玉造町1280	090-5412-5733	○	×	×	×	○	×
4	とべ助産院	戸部万亀子	東海村須和間1315-2	029-229-3541	○	○	○	○	○	○
5	ママルーム	秋山れい子	那珂市額田東郷13-1	090-1100-3447	×	×	×	×	○	×
6	つきのみち助産院	池田梨恵	那珂市菅谷3957-3六川住宅2	029-219-8841	○	×	×	×	○	○
7	桶谷式 おおこし母乳育児相談室	大越律子	ひたちなか市東石川3406-1 ウィンヴィレッジ105	029-276-0789	×	×	×	×	×	○
8	めぐろ助産院	目黒美千子	ひたちなか市市毛1166-2 サニーハイツA102	090-8873-3904	×	×	○	×	○	○
9		千葉 良	ひたちなか市八幡町13-3	090-6029-2245	×	×	×	×	○	×
10	ひまわり母乳育児相談室	小田倉和江	水戸市米沢町276-1 フォーライフヴィラ白帆206号	090-9292-3419 029-246-2831	×	×	×	×	○	○
11	かえて助産院	畠山みき子	水戸市東台	090-8440-3641	×	×	×	×	○	×
12	くりた母乳育児相談室	栗田ますみ	水戸市見和2丁目550-2	090-3233-0461	×	×	×	×	○	○
13	エステル母乳育児相談所	大山富子	鉾田市借宿1430	0291-33-3119	×	×	×	×	○	○
14	産前産後ケアサポートいとが	糸賀三恵子	笠間市旭町	090-9362-1870	×	×	×	×	○	×
15	ひかり助産院	森田美代子	神栖市土合本町3-9809-191	0479-48-6051	×	×	○	×	○	○
16	すみれ助産院	前島澄麗	石岡市	070-4481-9964	×	×	×	×	○	×
17	さとう助産院	佐藤三恵子	結城市結城12078-11	090-4372-5970	○	×	×	×	○	×
18	出張助産院ちさと	落合智里	古河市東本町	090-4543-8268	×	×	×	×	○	×
19	ものみ助産院（出張開業）	三宅はつえ	古河市本町4-7-1	090-8871-9071	×	×	○	×	○	×
20	助産院みち	遠藤美千恵	古河市下辺見2670-4	050-5360-8463	×	×	○	×	○	○
21	出張専門 ゆずのき助産院	荒井幸子	坂東市小山	090-2747-3214	○	×	×	×	○	×
22	はまぐちハッピー助産院	濱口 幸	守谷市松並青葉4-4-4	080-8744-6739	×	×	×	×	○	○
23	助産院かかんち	大橋里恵	取手市本郷1-7-1	090-8803-2895	×	×	○	×	○	○
24	出張専門助産所にこ	野村那津子	古河市雷電町	080-3934-0025	×	×	×	×	○	×
25	出張専門助産所お結び	栗島結花	古河市上辺見	080-4150-0632	×	×	×	×	○	×
26	つくば助産院smile birth	小川友紀	つくば市松代1-6-2	090-6931-9387	×	×	○	×	○	○
27	おざわ母乳育児相談室	近藤尚美	つくば市ニの宮2-13-3 アレンズ洞峰101	029-853-0036	×	×	×	×	×	○
28	Aina(アイナ) 助産院	玉置利香	土浦市	080-4007-4245	×	×	×	×	○	×
29	うえむら母乳育児相談室	上村晴代	土浦市荒川沖西2-8-24-102	070-3990-0086	×	×	×	×	○	○
30	守谷助産院	白井ハツ	守谷市松が丘5-27-19	0297-45-4438	○	○	○	○	○	○
31	BIO HOUSE(バイオハウス)	佐藤理絵	つくばみらい市紫峰ヶ丘	080-1124-6016	×	×	×	×	×	○
32	助産院ベビーヘルシー美雷	瀬井房子	つくばみらい市南太田500-1	0297-58-3708	×	×	○	×	○	○
33	歩海助産院	前田尚子	守谷市松ヶ丘7-21-1	0297-46-1843	×	×	×	×	○	○
34	桶谷式 もみじ母乳相談室	松丸仁美	守谷市ひがし野1-15-13	0297-33-9091	×	×	×	×	○	○
35	なかむら母乳育児相談室	中村淑美	守谷市松前3-24-11	0297-45-4356 090-4948-6638	×	×	×	×	×	○
36	産前産後MWケア 助産院ナカ・ヨシ	中原芳子	つくば市山木359-2 2F	050-3591-7744	×	×	○	○	×	○
37	Fuerza de mujer	鬼形智美	土浦市永国東町2 4 - 6	080-5447-5438	×	×	×	×	○	×
38	つくばひよこ助産院	松永敏子	つくば市	080-5480-3114	×	×	×	×	○	×
39	茨城県助産師会事務局		水戸市千波町2475栗原ビルA号室	029-297-5430						
			備蓄品配置場所							

2021 年 11 月 30 日現在

5. 県内産婦人科医療機関一覧(2021 年 11 月 30 日現在) ●分娩取り扱い施設

県北			
医療機関名	住所	電話番号	HP
●日立製作所日立総合病院	日立市城南町2-1-1	0294-23-1111	http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/
●県北医療センター 高萩協同病院	高萩市大字上手綱字上ヶ穂町1006-9	0293-23-1122	http://www.takahagi-kyodo-hp.jp/index.html
●加瀬病院	ひたちなか市市毛835	029-273-2071	
●医療法人すこやか ひたちなか母と子の病院	ひたちなか市青葉町19-7	029-273-2888	http://www.hahatoko.com/
●はやかわクリニック	ひたちなか市津田1952-1	029-374-4114	http://www.haya-cli.com/index.html
●小浜産婦人科クリニック	ひたちなか市堀口616	029-272-2535	
北茨城市民病院	北茨城市関南町関本下1050	0293-46-1121	http://www.ibaraki-n.jp/
医療法人社団 内田医院	高萩市大和町2-16	0293-22-2137	
岩佐医院	久慈郡大子町大子1827-7	0295-72-0975	http://www.iwasa-clinic.com/
医療法人福地レディースクリニック	日立市鹿島町2-17-4	0294-27-7521	http://www.flclinic.com/
樋口産婦人科内科医院	日立市中成沢町3-10-4	0294-35-1633	
かもしたクリニック	日立市中成沢町4-17-22メゾンボヌール1F	0294-28-6130	
瀬尾医院	日立市東多賀町2-15-8	0294-33-0763	http://www.seoiin.com/
あすくレディースクリニック	ひたちなか市中根深谷津3324-1	029-270-2020	
原レディースクリニック	ひたちなか市笹野町2-11-10	029-276-9577	http://www.har-ladies.jp/
日立製作所ひたちなか総合病院	ひたちなか市石川町20-1	029-354-5111	https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/

県央			
医療機関名	住所	電話番号	HP
●水戸赤十字病院	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177	http://www.mito.jrc.or.jp
●石渡産婦人科病院	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	http://www.mito.ne.jp/~ishiwata/
●山縣産婦人科	水戸市千波町374-1	029-241-6121	
●水戸済生会総合病院	水戸市双葉台3-3-10	029-254-5151	http://mito-saisei.jp/
●鈴木産婦人科医院	水戸市東台1-10-19	029-221-3932	
●江幡産婦人科内科病院	水戸市備前町4-11	029-224-3223	http://www.ebata.or.jp
●小松崎産婦人科	水戸市本町1-6-20	029-221-2645	
●青木医院	水戸市本町3-4-7	029-221-8603	http://www.aoki-mc.com
●茨城県立中央病院	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/
●根本産婦人科医院	笠間市八雲1-4-21	0296-77-0431	http://www.nemoto-lc.com
●医療法人社団 葉山産婦人科	鹿嶋市宮中1995-25	0299-83-1515	http://www.hayamalc.jp
●小山記念病院産婦人科	鹿嶋市厨5-1-2	0299-85-1111	http://www.koyama-mh.or.jp
●白十字総合病院	神栖市賀2148	0299-92-3311	http://www.hi-ho.ne.jp/yui-na/
●つばさクリニック	行方市島並1511	0299-72-2830	http://www.tsubasaclinic.com
高橋医院	鉾田市安房1407-8	0299-83-1515	http://www.takahashi-iin-hokota.jp/
神谷医院	鉾田市玉田1016-6	0291-37-4611	
岩崎病院	水戸市笠原町1664-2	029-241-8700	http://www.iwasaki-hosp.com/
岩間産婦人科医院	水戸市末広町2-3-38	029-221-6951	
おおぬきARTクリニック水戸	水戸市三の丸3-11-1	029-231-1124	https://onuki-art.jp/
ひろこレディースクリニック	水戸市宮町1-2-4MYMビル4階	029-232-0011	https://hiroko-lc.com/

県南			
医療機関名	住所	電話番号	HP
●総合病院土浦協同病院	土浦市おおつ野4-1-1	029-830-3711	http://www.tkgh.jp/index.html
●霞ヶ浦医療センター	土浦市下高津2丁目7-14	029-822-5050	https://kasumigaura.hosp.go.jp/
●柴田マタニティクリニック	土浦市桜町4丁目13-20	029-821-0154	http://www.shibatamaternity.com/
●筑波大学附属病院	つくば市天久保2-1-1	03-3945-3231	http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/
●筑波学園病院	つくば市上横場2573-1	029-836-1355	https://www.gakuen-hospital.or.jp/
●なないろレディースクリニック	つくば市西大沼636-10	029-860-7716	https://www.nanairo.or.jp/
●なないろもあパースクリニック	つくば市西大沼637-6	029-886-3541	https://nanairo-moa.com/facility/
●東京医科大学茨城医療センター	稲敷郡阿見町中央三丁目20-1	029-887-1161	https://ksm.tokyo-med.ac.jp/
●まつばらウィメンズクリニック	稲敷郡阿見町本郷1丁目16-2	029-830-5151	https://happy-mw.com/
●椎名産婦人科	牛久市中央5丁目12-20	029-872-0799	http://www.shiinasanfujinka.com/
●かんの産婦人科クリニック	取手市藤代1076	0297-83-0321	https://kanno-sanfujinka.com/
●JAとりで総合医療センター	取手市本郷二丁目1-1	0297-74-5551	https://www.toride-medical.or.jp/
●お産の森 いのちのもり	守谷市大柏1067-1	0297-44-6203	http://shinozaki-clinic.org/menu.html
●総合守谷第一病院	守谷市松前台1-17	0297-45-5111	https://www.moriya.daiichi.or.jp/
●つくばセントラル病院	牛久市柏田町1589-3	029-872-1771	http://www.central.or.jp/
●龍ヶ崎済生会病院	龍ヶ崎市中里1丁目-1	0297-63-7111	http://www.ryugasaki-hp.org/
石川クリニック	土浦市大町12-3	029-821-2587	http://www17.plala.or.jp/i-clinicOBGYN/
橋本産婦人科医院	土浦市東並木町576	029-822-5541	
前島レディースクリニック	つくば市手代木2005-6	029-859-0726	https://maejimaladiesclinic.org/
庄司クリニック	つくば市中野158-1	029-836-0405	http://www.shojclinic.jp
筑波総合クリニック	つくば市要65	0120-138-122	https://tsukuba-kinen.or.jp/
つくばARTクリニック	つくば市竹園1丁目6-1 つくば三井ビル4F	029-863-6111	http://www.tsukuba-art.jp/
つくば木場公園クリニック	つくば市松野木101-6	029-836-4123	https://www.tsukuba-kibapark.jp/
富田産婦人科医院	石岡市茨城3-5-31	0299-23-0311	http://www.tomitaclinic.jp/
松葉産婦人科	石岡市府中2-4-41	0299-23-2157	
牛久愛和総合病院	牛久市猪子町896	029-873-3111	http://www.jojinkai.com/
セントラル総合クリニック	牛久市上柏田4丁目58-1	029-875-3511	http://www.central.or.jp/sc/shinryo/fujinka.html
はなみずきクリニック	牛久市中央1丁目6-22	029-871-1711	http://www.hanamizuki-clinic.com/
いがらしクリニック	龍ヶ崎市栄町4659-3	0297-62-0936	https://igarashi-cl.com/
野村医院	龍ヶ崎市根町3316	0297-62-6561	
鴻巣クリニック	龍ヶ崎市緑町200	0297-61-0151	
秋田医院	取手市桐木890	0297-83-0341	
染川ウィメンズクリニック	取手市取手3丁目4-21 中村ビル3階	0297-79-4250	http://somekawa-womens.com/

県西			
医療機関名	住所	電話番号	HP
●遠藤産婦人科医院	筑西市中館130-1	0296-20-1000	http://www.endoclinic.or.jp/
●小松崎産婦人科医院	筑西市二木成1267	0296-24-6327	
●西南医療センター	猿島郡境町2190	0280-87-8111	http://www.seinan-mch.or.jp/
●池田医院	猿島郡境町松岡町2174-100	0280-87-0171	https://www.ikedaiin-sakai.com/
●秋葉産婦人科	古河市東本町2-9-2	0280-32-3335	http://www.akiba-hp.jp/
●船橋レディースクリニック	古河市諸川657-3	0280-76-0386	http://www.funabashi-lc.jp/
●池羽レディースクリニック	結城市大字結城10622-1	0296-33-3465	
古河赤十字病院 婦人科	古河市下山町1150	0280-23-7111	http://www.koga.jrc.or.jp/
医療法人徳洲会 古河病院	古河市鴻巣1555	0280-47-1010	http://www.kogahosp.jp/index.html
医療法人 塚原医院	古河市尾崎3810-3	0280-76-2323	http://www.tsukahara-clinic.or.jp/
城西医院	結城市結城10745-24	0296-33-2111	
宇津野医院	下妻市大字下妻丁373-15	0296-45-0311	https://utsuno-clinic.com/
中岫産婦人科医院	下妻市下妻148	0296-44-2438	
医療法人社団修徳会 植竹医院	常総市水海道宝町2841	0297-23-1135	http://www.myclinic.ne.jp/uetake/pc/
くぐいど婦人科クリニック	坂東市鶴戸896-1	0297-35-5600	http://www.kuguido-fujinka.com/

VIII. 支援のポイント

1. 妊産褥婦

○妊産婦及び乳幼児等に対する支援のポイントについて

避難所等で生活している妊産婦、乳幼児の支援のポイント

[Microsoft Word - \(別添\) 支援のポイント \(mhlw.go.jp\)](http://www.mhlw.go.jp)

(2021年10月11日確認)

妊産婦、新生児、乳幼児の気を付けたい症状、災害による生活の変化と対策について、被災した子どもたちへの支援のポイントについて紹介されている。

○災害時妊産婦情報共有マニュアル（保健・医療関係者向け）（内閣府

HP）[http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121617.pdf)

[Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121617.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000121617.pdf)（2021年10月11日確認）

災害に対する平時の備え、発災後各フェーズにおける効果的な情報収集と提供方法、情報共有の重点事項が行政及び専門職に役割を分担され整理されており、全ての人が具体的な行動を取れるようなマニュアルである。

同様に、一般・避難所運営者向けもある。

○災害対応力を強化する女性の視点 ～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～

http://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_01.pdf

(2021 年 10 月 11 日確認)

これまでの災害時の支援で課題となった、女性や子供・若者、高齢者、障がいのある方、LGBTの方など、多様な方々への配慮を含めた視点から、平常時の備え、初動段階、避難生活、復旧・復興の各段階において取り組むべき事項を示してある。

○授乳アセスメントシート①～③（ガイドライン第 3 部から抜粋）（国立成育医療研究センターHP）

http://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_10.pdf

上記ガイドラインに掲載されているが、現場で即役立つものである。

○災害時の乳幼児栄養・母乳育児支援情報(NPO 法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会)https://www.jalc-net.jp/hisai/hisai_support.html [災害時の母乳育児支援 // NPO 法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会 \(JALC \(jalc-net.jp\)\)](https://www.jalc-net.jp/hisai/hisai_support.html) (2021 年 10 月 11 日確認)

災害時における乳幼児の栄養や母乳育児支援について、ご本人と家族向け、支援者向けに情報を提供している。

2. 新生児・乳幼児

○被災地の避難所で生活をする赤ちゃんのための Q&A(日本新生児成育医学会) (医療従事者向け) <http://plaza.umin.ac.jp/~jspn/shinsai/qastaff.html> (2021 年 10 月 11 日確認)

新生児の栄養・清潔・排泄・保温などについて基本的なことが紹介されている。併行して被災者向けに優しい言葉で書かれている被災者向けのリーフレットもある。

○こどもの救急（日本小児科学会）（被災者向け）

<http://kodomo-qq.jp/>（2021 年 10 月 11 日確認）

被災者向けではあるが、小児の内科的な症状から外傷まで、よくある質問がパンフレットで紹介されている。知りたい内容がさらに詳しく調べることができ、状態の把握と受診のタイミングを判断する指標としても活用できる。

○災害時における乳幼児の栄養支援の手引き（日本栄養士会）

<https://www.dietitian.or.jp/news/upload/images/f9201c4d34f68860299bda0ff63281964025eb95.pdf>（2021 年 10 月 11 日確認）

災害時の栄養問題、乳児の栄養（母乳と粉ミルク、液体ミルク）、離乳食開始以降の乳幼児の栄養について注意事項が紹介されている。

○災害時の健康・栄養について（国立健康・栄養研究所 HP）

http://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/info_saigai.html（2021 年 10 月 11 日確認）

避難生活を少しでも元気に過ごすために、一般の方向けのリーフレット及び専門家向け解説がある。その中で、赤ちゃん、妊婦・授乳婦編がある（下記）。

・赤ちゃん、妊婦・授乳婦の方へ

リーフレット <http://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/pdf/boshi.pdf>

通常ページ版 <http://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/hinan3.html>

専門家向け解説 http://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/pdf/boshi_pro.pdf

（2021 年 10 月 11 日確認）

○子どもの心の診療ネットワーク事業 災害と子どもの心

（国立成育医療研究センターHP）<https://www.ncchd.go.jp/kokoro/>

（2021 年 10 月 11 日確認）

災害後の中長期的な健康問題に対処するための、あるいは予防するための妊産婦、乳幼児及びその保護者の方向けのマニュアルで、専門職が実践すべきことが記されている。

○災害時の子どものアレルギー疾患対応パンフレット(日本小児アレルギー学会)

[saigai_pamphlet.pdf \(jspaci.jp\)](http://saigai_pamphlet.pdf(jspaci.jp)) (2021 年 10 月 11 日確認)

災害時に実際にアレルギーが発症した場合の対応が記載されている。一般向けのものであるが、専門職としても基本的なことが理解できる内容である。

3. その他

○災害時地域精神保健医療活動のガイドライン (ストレス災害時こころの情報支援センター)

<https://saigai-kokoro.ncnp.go.jp/support/index.html> (2021 年 10 月 11 日確認)

支援者向けには災害時の精神保健医療活動のガイドライン、応急処置、メンタルヘルスマニュアル、被災した子どもや障がい児への対応とケア、コロナ禍の心のケア、不眠対策、飲酒問題、認知症、死亡告知・遺体確認における遺族へのケア、災害救護者メンタルヘルスマニュアルが掲載。一般向けもある。

○防災に備える衛生情報 (ユニ・チャーム)

<https://www2.unicharm.co.jp/csr-eco/mystylebosai/> (2021 年 10 月 11 日確認)

女性、赤ちゃん、シニア、在宅介護、ペットに備える衛生情報が掲載されている。生理用品の扱い方や下着を衛生的にすること、オムツ用品、防水シートの利用方法についても紹介されている。

○東海村の原子力

<https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/section/gensiryoku/07bogo/bogo.htm>

「(2021 年 10 月 11 日確認)

サイト内の<パンフレット>で紹介されている「原子力広報・防災マップ」では、原子力災害と対策の項目で、万が一事故が起きた場合の対応について紹介してある。

○Save the Children Japan

<https://www.savechildren.or.jp/lp/drr/> (2021 年 10 月 11 日確認)

避難所で役立つ工作（スリッパやコップ、レインコートなどの作り方）が紹介されている。また、避難先でもできる遊びのアイデアや災害時の子どもの心のケアも紹介されている。

◇関連情報

○国土交通省 気象庁 [気象庁 Japan Meteorological Agency \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp)

○国土交通省 気象庁 防災気象情報と警戒レベルとの対応

[気象庁 | 防災気象情報と警戒レベルとの対応について \(jma.go.jp\)](https://www.jma.go.jp/boshu/hokoku/2021/07/20210701_01.html)

(2021 年 10 月 11 日確認)

○茨城県災害・危機管理ポータルサイト

[茨城県 防災・危機管理ポータルサイト \(bousai.ibaraki.jp\)](https://bousai.ibaraki.jp/)

(2021 年 10 月 11 日確認)

VIII. 活動報告記録様式

災害時母子ケア実施報告書

訪問年月日：令和 年 月 日（ 曜日） ： ～						担当助産師：	
災害の種類及び状況							
支援場所		訪問（自宅・その ）・避難所（ ）					
支援場所への移動手段							
支援場所のライフラインの状態		ガス(使用可・使用不可) 水道(使用可・使用不可) 電気(使用可・使用不可)					
ケアの対象の状況							
氏名(イニシャル)		年齢・月齢	状況		対応・ケア		連絡先
1							
2							
3							
4							
5							
6							
今後の支援の必要性など							
ケアや支援を通しての振り返り（反省や感想、困ったこと、次への課題など）							

編集後記

編集後記

マニュアルの第3版改定に向けて本格的に動き出した2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染の不安と新しい日常生活の導入に戸惑いながら、様々な活動が中止や延期となり気持ちも沈みました。これも1つの災害下にあるような生活でした。そのような中で、私たち災害対策員会はオンライン会議という新しい方法を活用し、マニュアル改訂に向け何度も話し合いを重ね、第3版を皆様へお届けできる運びになりました。今回は、マニュアルを冊子ではなく、茨城県助産師会のHPに電子媒体として掲載することにいたしました。これは、内容の変更や情報の更新などがタイムリーにできるというメリットがあるからです。さらに、支援のポイントとして、関連のサイトにリンクできるようURLを掲載いたしました。感染症禍にある災害時の活動など、新たな課題もありますが、このマニュアルが会員の皆様にとって、災害時に助産師として何をすべきか、何ができるかを考える指標となり活動に繋げて頂ければ幸いです。

2021年 晩秋

茨城県助産師会

災害対策委員長 西出弘美

茨城県災害時母子支援マニュアル第3版

荒井幸子・礒山あけみ・鬼形智美・川上綾子・菊池愛美・佐藤理絵
野村那津子・西出弘美・畠山みき子・藤本文子・三澤夏子・森本薫

(50音順)

佐藤三恵子(助産所部会)・渋谷えみ(勤務部会)・福原陽子(保健指導部会)